

しえいこうつう ちゅうきけいえいけいかく 市営交通 中期経営計画2023-2026 概要版

よこはましこうつうきょく はし ばす ちかてつ つぶ ねん がつ ねん がつ すず けいかく けい
横浜市交通局が走らせているバスと地下鉄をこれからも続けていくために、2023年4月から2027年3月までに進める計画です。計
画を作るために、交通のことや経営のことに詳しい人たちが意見をもらいました。
交通局が安全にバスや地下鉄を走らせます。また、これから未来にも、みんなに安心して乗ってもらえるようにします。そのために
は、交通局ではたらく人全員が、新しい考え方で、経営を良くするように仕事をします。

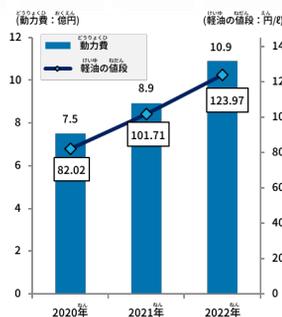
こうつうきょく もんだい 交通局にとっての問題になっていること

● でんき ねんりょう ざいりょう ねだん あ 電気、燃料、材料の値段が上がったこと

さいきん ばす はし ねんりょう ちかてつ はし
最近、バスを走らせるための燃料、地下鉄を走
らせるための電気、建物を建てたり直したりするた
め材料などの値段が急に上がっています。

これからの物の値段の上がり方を、正しく予想す
ることはできません。そのため、値段が上がったり
下がったりする様子を見続けていくことが必要で
す。

どうりょくひ ちかてつ うご かね
動力費（バスや地下鉄を動かすためのお金）と
軽油（ふつうのバスの燃料）の値段



でんきりょうきん でんき つか かね
電気料金（電気を使うためのお金）と
電気の値段



● ばす うんでんしゅ た バスの運転手が足りないこと

いま 昔と比べて、車を運転できる若い人の数が減ってきて
います。そして、バスを運転できる若い人の数も減ってきてい
ます。

また、2024年4月からバス会社を守るルールが変わりまし
た。それによって、もっとたくさんの運転手が必要になります

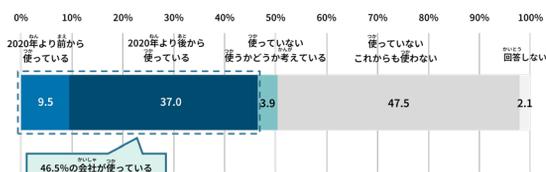
バスが運転できる人の数（神奈川県 20才から39才まで）



● みんなの行動が変わったこと

コロナウイルスによって、家から外に出る人が減りまし
た。さらに、会社や学校では、インターネットで仕事や授業
ができるようになりました。そのため、バスや地下鉄を使わ
なくても生活できるように、みんなの行動が変わりました。

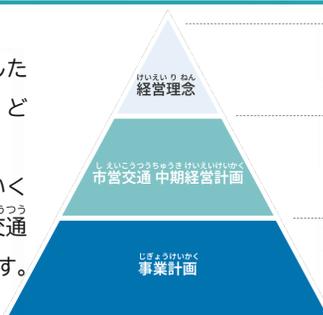
インターネットを使って会社の外で仕事ができる会社（横浜市内の会社）



この計画の説明

この計画は、交通局にとっての問題を解決するために作りました
経営を続けていくためにどうすればいいの、何をしていくの、ど
のくらいお金を稼いで、使っていくのかについて書いています。

2023年4月から2027年3月までの4年間で交通局がやっていく
ことを書いています。その間に、新しく問題が増えた時や、交通
局の経営が良くなったり悪くなったりした時は、計画を直します。



経営理念
交通局の経営の考え方

中期経営計画
この計画
(4年間に進める計画)

事業計画
1年間に交通局が進める計画

経営の基本的な考え方

交通局では、経営理念（経営の考え方）を大切にしながらバスと地下鉄を走らせています。乗ってもらう人に頼りにされ、愛される交通として、交通局がしなければならぬことは、安全で間違いなくバスと地下鉄を走らせること、そして、横浜のまちやみんなの暮らしを支え続けることです。

これからもずっとバスや地下鉄を走らせるため必要なことは、これから社会がどうなるのか、これからどれくらいバスや地下鉄が必要になるのかを考え、安定した経営ができるようにすることです。そして、安全を一番大切にして、バスや地下鉄を守り、市の交通の役目を行っていきます。



経営のために大切にしている5個のこと

<p>① 安全の確保 (バス・地下鉄を安全に走らせる)</p> <p>バスや地下鉄を安全に走らせることが一番大切です。はたらく人に安全について考えてもらうようにします。古くなった建物や機械が壊れないようにします。</p>	<p>② 市民の足を守る (バス・地下鉄を守る)</p> <p>バスや地下鉄を守ります。走るバスの数を必要な量に変更します。地震や大雨の対策をします。</p>	<p>③ 公営交通の責務 (市の交通の役目をする)</p> <p>横浜に住む人たちのくらしや、まちづくりに協力します。二酸化炭素をあまり出さないようにします。どんな人でも使いやすいような駅やトイレにします。</p>	<p>④ 財務基盤の強化 (安定して経営できるようにする)</p> <p>これからも交通局が安定して経営できるようにします。必要なお金を稼ぎ、お金を無駄に使わないようにします。</p>	<p>⑤ 人財育成の推進 (はたらく人を増やす、育てる、大切にする)</p> <p>はたらく人は宝物です。はたらく人を増やして、育てます。また、みんながはたらきやすいような仕組みやはたらく場所にしていきます。</p>
---	--	--	---	---

目指していくこと

	なにを	今の数字 (2022年4月～2023年3月)	どうする (2022年4月～2023年3月)
乗ってもらう たくさんの人に	1日にバスに乗る人の数 (2018年4月～2019年3月：34万人)	31万人 (2018年4月～2019年3月と比べて91%)	32万人 (2018年4月～2019年3月と比べて94%)
	1日に地下鉄に乗る人の数 (2018年4月～2019年3月：67万人)	58万人 (2018年4月～2019年3月と比べて87%)	63万人 (2018年4月～2019年3月と比べて94%)
使う量を減らす お金を稼ぐ	バスに関係する必要なお金を稼ぐ お金を無駄に使わない	—	良くなった金額：1.5億円 稼ぐお金を0.4億円増やす 使うお金を1.1億円減らす
	地下鉄に関係する必要なお金を稼ぐ お金を無駄に使わない	—	良くなった金額：8.7億円 稼ぐお金を0.9億円増やす 使うお金を7.8億円減らす
あまり出さないようにする 二酸化炭素を	バスに関係する二酸化炭素を あまり出さないようにする	—	5%減らす
	地下鉄に関係する二酸化炭素を あまり出さないようにする	—	12%減らす

市営交通 中期経営計画2023-2026

発行：横浜市交通局 経営管理部 経営管理課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市役所19階
電話：045-671-3169 FAX：045-322-3911



1 あんぜん かくほ 安全の確保(バス・地下鉄を安全に走らせる)

(1) あんぜん せつび つく 安全な設備を作る

こうつう 交通にとって、あんぜん 安全が一番大切なことです。そのために、せつび 設備をもっとよいものに変わっていきます。



地下鉄の中のカメラ



駅のカメラ

(2) ふる せつび あたら 古くなった設備を新しくする

ちかてつ 地下鉄の線路の中で、うみ 海に近い場所や、おほくま 大きく曲がる場所は、壊れやすいです。そのため、こわ 壊れる前に直したり、あたら 新しいものにします。また、バスの設備も古くなっているため、あたら 新しくしたり、もっとよいものに替えていきます。



トンネル



おほくま 大きく曲がる線路



バスの設備

(3) ひと そだ はたらく人を育てる

むかし おこした おお 大きな事故についてまな 学びます。健康ではたらくことができるようになります。長くはたらいっているわか ひと 若い人が技術をまな 学びます。



こうつうきょく 交通局安全大会
あんぜん (安全について学びます)

(4) でしたる ぎじゅつ つか デジタル技術を使う

デジタル技術を使って、きかい や施設の悪いところをしら 調べることがかんたん になります。新しい技術を使うことができるかどうかしら 調べます。デジタル技術を上手に使って、地下鉄をもっと安全にします。



レーザーで
トンネルを調べる



ドローンで
高いところを調べる



うんでんちゆう 運転中の映像を使って
あんぜん 安全を学ぶ

2 しみん あし まも 市民の足を守る(バス・地下鉄を守る)

(1) ばす はし かた かんが バスの走らせ方を考える

バスが走る数を、ひつよう 必要な量に変更します。バスが走る時間は、みんなが使いやすいようにします。また、横浜市全体でバスが無くならないように、ほかのバスの会社と一緒に考えます。



よこはまし 横浜市営バス

(2) じしん おおあめ たいさく 地震や大雨の対策をする

さいがい 災害(地震、大雨)のためのじゆん 準備をします。災害でも壊れないようなしせつ 施設になるようにこうじ 工事をします。また、もし災害が起こった時にすることをれんしゆ 練習します。



じしん 地震で壊れないようにするこうじ 工事



せんろ 線路の降り方についてれんしゆ 練習する

3

公共交通の責務(市の交通の役目をする)

(1) 横浜市のまちづくりに協力する

横浜市が行うまちづくりに、市の交通として協力します。小さい子どもがいる家族にとって使いやすくします。駅を新しくします。



グリーンラインを4両から6両にする

新しくなった新横浜駅

地下鉄の中で車いすとベビーカーが優先して使える場所

(2) 二酸化炭素をあまり出さないようにする

バスや地下鉄を走らせるためには、二酸化炭素をたくさん出します。

二酸化炭素をあまり出さないバスを買いまします。また、明かりをLEDに替えて、使う電気の量を減らします。



LEDの明かり(駅)

(3) みんなが使いやすい駅や施設を作る

駅をみんなが使いやすいように変えていきます。地下鉄に乗る時の、段差やすき間を小さくします。また、トイレをだれでも使いやすいようにします。



段差やすき間(小さくした後)

だれでも使いやすい駅のトイレ

4

財務基盤の強化(安定して経営できるようにする)

(1) 必要なお金を稼ぐ

空いている場所をお店に貸したり、広告や貸切バスを使って、バスや地下鉄を走らせること以外でも必要なお金を稼ぎます。また、クレジットカードでバスや地下鉄に乗ることができるようにします。



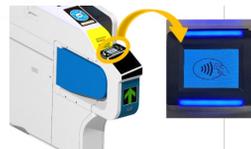
デジタルの広告



駅の空いている場所を使ったお店



みなとぐらリチケット



クレジットカードで乗ることが
できる地下鉄の改札

(2) お金を無駄に使わない

もっと仕事をしやすいように機械やシステムを替えて、使うお金を減らします。駅に置いている機械の数を減らします。システムを新しくして、バスの監視を簡単になります。

5

人財育成の推進(はたらく人を増やす、育てる、大切に)

(1) はたらく人を増やす

交通局ではたらく人を増やすための方法を変えます。また、女性がはたらきやすい場所にするために施設を作ります。



交通局ではたらく人(バスを点検する人)



女性の運転手が寝ることができる場所

(2) はたらきたいと思えるルールを作る

マスタードライバー(乗る人に喜ばれる運転ができる人)を決めるルールを使って、運転手が頑張ってはたらきたいと思えるようにします。また、はたらく場所やはたらき方のルール、給料がもっと良くなるようにします。



マスタードライバー

(3) はたらきやすい仕事の場所を作る

古くなった建物や施設を新しくして、はたらきやすい場所になります。また、デジタル技術を使って仕事をしやすくします。